

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年5月19日（水）
- 2 確認箇所
固体廃棄物貯蔵庫第2棟
- 3 確認項目
固体廃棄物貯蔵庫第2棟の状況

4 確認結果の概要

固体廃棄物貯蔵庫第2棟（図1）においては、瓦礫等一時保管エリアW2から搬入されたコンテナのうち当該エリアで70 μ m線量当量率（ベータ線+ガンマ線）が高かった場所付近に置かれていたコンテナ38基の内部調査*が実施されるとともに、4月27日には旧研修棟東側に置かれていた内容物不明のコンテナ4基が搬入されていることから、当該貯蔵庫内の現況を確認した。（前回確認：[4月2日](#)（固体廃棄物貯蔵庫第2棟）、[4月27日](#)（旧研修棟周辺））

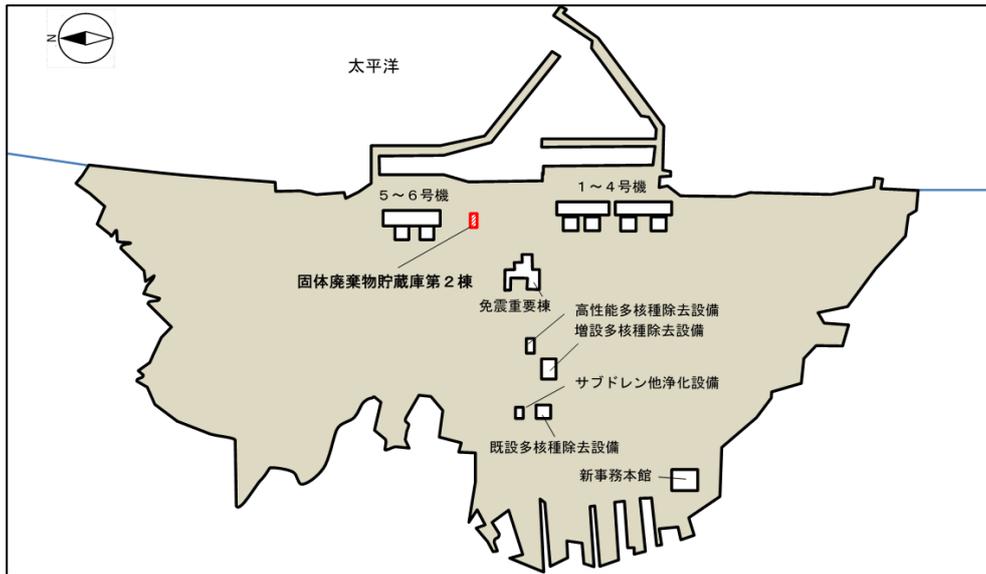
- ・現場確認時には固体廃棄物貯蔵庫第2棟内での作業は行われておらず、瓦礫等一時保管エリアW2から移動した際に著しい腐食が確認されたコンテナ1基の内部調査において当該コンテナから内容物を移し替えたコンテナが、カラーコーンとポールで区画された養生シート上に保管されていた。確認した範囲では、コンテナからの漏えい等は認められなかった。

（写真1）

- ・旧研修棟東側から搬入された内容物不明のコンテナ4基が養生シート上に保管されていた。いずれのコンテナもコンテナ外面に錆や塗装の剥離が見られたが貫通箇所や内容物の漏えいは認められなかった。（写真2）

東京電力によると、今後、コンテナ開放時の汚染拡大防止対策を行い、内容物の確認作業を実施するとのことであった。

※コンテナ38基の内部調査：3月2日に物揚場排水路に設置されている簡易放射線検知器（PSFモニタ）において「高警報」が発生した原因調査として、固体廃棄物貯蔵庫第2棟に搬入された瓦礫等一時保管エリアW2に保管されていたコンテナのうち、移動した際に著しい腐食が確認されたコンテナ1基及び当該コンテナ周辺（瓦礫類一時保管エリアW2で70 μ m線量当量率（ベータ線+ガンマ線）が高かった場所付近）に置かれていたコンテナ37基の内部調査等を4月1日～4月20日に実施したもので、東京電力では調査結果の速報を4月12日及び4月22日に公表している。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)

固体廃棄物貯蔵庫第2棟の建屋内の状況 (入口 (西側) から撮影)



(写真1-2)

著しい腐食が確認されたコンテナから内容物を移し替えたコンテナの保管状況 (南西側から撮影)



(写真 2 - 1)
旧研修棟東側から搬入されたコンテナ 4 基の保管状況 (南西側から撮影)



(写真 2 - 2)
旧研修棟東側から搬入されたコンテナの状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。